

はじめに	1
レッスン1 水彩でできること	3
1 水彩ソフトの特徴	3
レッスン2 水彩の画面を確認しよう	4
1 水彩の起動	4
2 ツールバーについて	6
3 4つのサブウィンドウの確認	7
4 パレットウィンドウ	7
5 オプションウィンドウ	9
6 筆形状ウィンドウ	10
7 レイヤーウィンドウ	11
8 サブウィンドウを整列させたい時は	12
9 元に戻す回数の設定方法	13
レッスン3 描画ツールのいろいろ	15
1 おもな描画ツール	15
2 お絵かきに便利なペンタブレットとは	20
木の葉を塗ってみよう	21
レッスン1 完成例と線画を開こう	23
1 ファイルを開く	23
レッスン2 筆と絵の具を準備しよう	25
1 パレットの使い方	25
2 色の混ぜ方	26
3 絵の具の量の調整	27
レッスン3 レイヤーとは?	28
1 線画レイヤーと色レイヤー	28
レッスン4 ドラッグしながら塗ってみよう	29
1 ドラッグしながら塗る	29
2 元に戻す	31
3 2つめの色を塗る	32
4 ぼかし筆を使う	33
5 全体に色を入れる	35
レッスン5 2枚目の木の葉を塗ってみよう	36
1 パレットを洗う	36
2 消しゴムの使い方	36
3 色を上乗せしてみよう	38
4 消しゴムの跡をぼかす	39

レッスン6	サインを入れよう	40
1	文字ツール	40
レッスン7	保存しよう	43
1	JPGで保存	43
レッスン8	印刷しよう	48
1	印刷設定	48

## ガーベラを描いてみよう 55

レッスン1	写真と完成例と線画を開こう	57
1	ファイルを開く	57
レッスン2	3つのレイヤーを使い分けよう	58
1	影レイヤーと色レイヤー	58
レッスン3	影の色を塗ろう	60
1	スポイトの使い方	60
2	写真をトレースする	62
3	影の色を塗る	63
レッスン4	花の色を塗ろう	65
1	花の色を作る	65
2	絵の具の量で色調整	66
レッスン5	花芯と茎を塗ろう	69
1	花芯と茎を塗る	69
2	ドット（点）を入れアクセントをつける	71
3	消しゴムなどで整える	72
レッスン6	サインを入れよう	73
1	文字ツール	73
レッスン7	保存しよう	75
1	JPGで保存	75
レッスン8	印刷しよう	77
1	印刷設定	77

## アイビーを描いてみよう 83

レッスン1 写真と完成例と線画を開こう	85
1 ファイルを開く	85
レッスン2 3つのレイヤーを使い分けよう	86
1 影レイヤーと色レイヤー	86
レッスン3 下地と影の色を塗ろう	87
1 クリーム色の使い方	87
2 ガラスびんに影をつける	88
3 茎を塗る	90
レッスン4 作った色を保存しよう	91
1 パレットに色を保管	91
レッスン5 ののびのびと塗ってみよう	93
1 3色を塗り重ねる	93
レッスン6 透明なガラスびんを描こう	96
1 びんに映りこんだ色を塗る	96
2 消しゴムなどで整える	97
レッスン7 手書きのサインを入れよう	98
1 ペンでサインを入れよう	98
レッスン8 保存しよう	99
1 JPG で保存	99
レッスン9 印刷しよう	102
1 印刷設定	102

## さくらんぼを描いてみよう 107

レッスン1 写真と完成例と線画を開こう	109
1 ファイルを開く	109
レッスン2 3つのレイヤーを使い分けよう	110
1 影レイヤーと色レイヤー	110
レッスン3 下地の影の色を塗ろう	111
1 写真をトレースする	111
2 下地の色を塗る	112
3 影の色を塗る	113
レッスン4 まるいものを描いてみよう	115
1 さくらんぼの色を作る	115
2 絵の具の量で色調整	116

レッスン5	さくらんぼにつやを入れよう	118
1	白を入れてぼかす	118
レッスン6	茎を塗ろう	119
1	茎を塗る	119
レッスン7	手書きのサインを入れよう	121
1	ペンでサインを入れよう	121
レッスン8	保存しよう	122
1	JPGで保存	122
レッスン9	印刷しよう	125
1	印刷設定	125

#### 製品名の記載について

このテキストでは、次の略称を使用しています。

- ① 水彩7 ..... 水彩
- ② Microsoft® Windows XP ..... Windows XP または Windows
- ③ Microsoft® Office IME 2003 ..... IME2003 または IME

#### テキストの開発環境

- ④ OS ..... Microsoft® Windows® XP
- ⑤ アプリケーションソフト ..... Microsoft® Office Standard 2003

楽しく続ける  
Eテキスト

水彩7

はじめに

水彩について

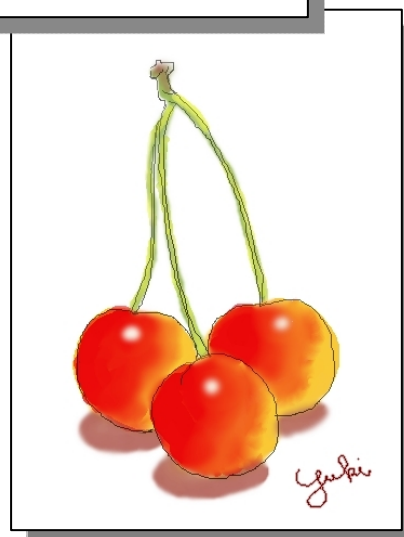
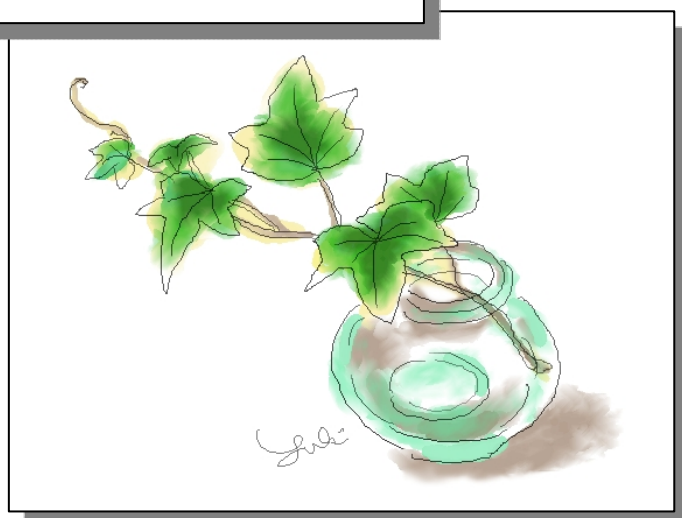
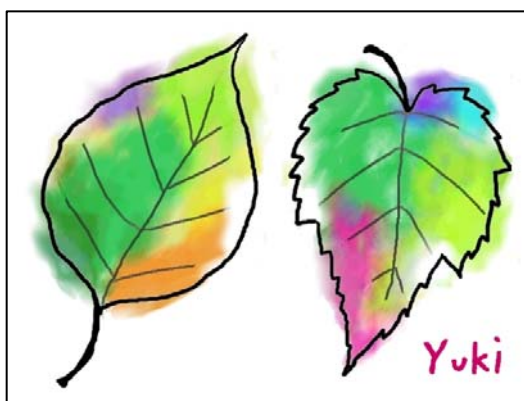
SUI7-0001



パソコンを使って文書を作ったり、インターネットをしたり・・・パソコンは使えば使うほど、興味の尽きない道具です。

今では絵の世界においても、すばらしい表現ができるようになりました。画面上で絵の具を混ぜることができ、本物のようなみずみずしさを表現できる・・・絵を描いたことのない方でも、ペイントソフト「水彩」がサポートしてくれるので、気楽に始められます。絵心やテクニックはいりません。必要なものは、好奇心と遊び心のみ・・・さあリラックスした心持ちで、楽しみながら描いてみましょう！

## 完成例



## レッスン ① 水彩でできること

### 1 水彩ソフトの特徴

「水彩7」（以下、水彩）は、絵を描くことを気軽に楽しめるソフトです。簡単な操作で、本物の水彩画のように絵を描くことができます。「水彩」には次のような特徴があります。

- ① 画材道具なしで絵が描ける  
パソコンの画面が「キャンバス」、マウスが「絵筆」の代わりになります。汚れない上、準備・片づけの必要もありません。
- ② 色を混ぜられる・本物の水彩画のように描ける  
画面上で色を混ぜて、好みの色を作れます。またみずみずしい筆の感触が、手描きの温かみを感じさせてくれます。
- ③ 下絵をトレースして描くことができる  
写真やイラストを下絵にして、写し描きする（なぞる）ことが可能なので、初めての方でも安心して絵を描くことができます。
- ④ 描いた絵を元にすてきな作品が作れる  
描いた絵を元にして、オリジナルのはがきやレター・カレンダーなどが簡単に作れます。
- ⑤ 何度でもやり直しがきく・作品保存が簡単  
失敗しても何度でも元に戻ることができるので便利です。また作品はパソコンの中で保存・整理ができ、場所をとりません。



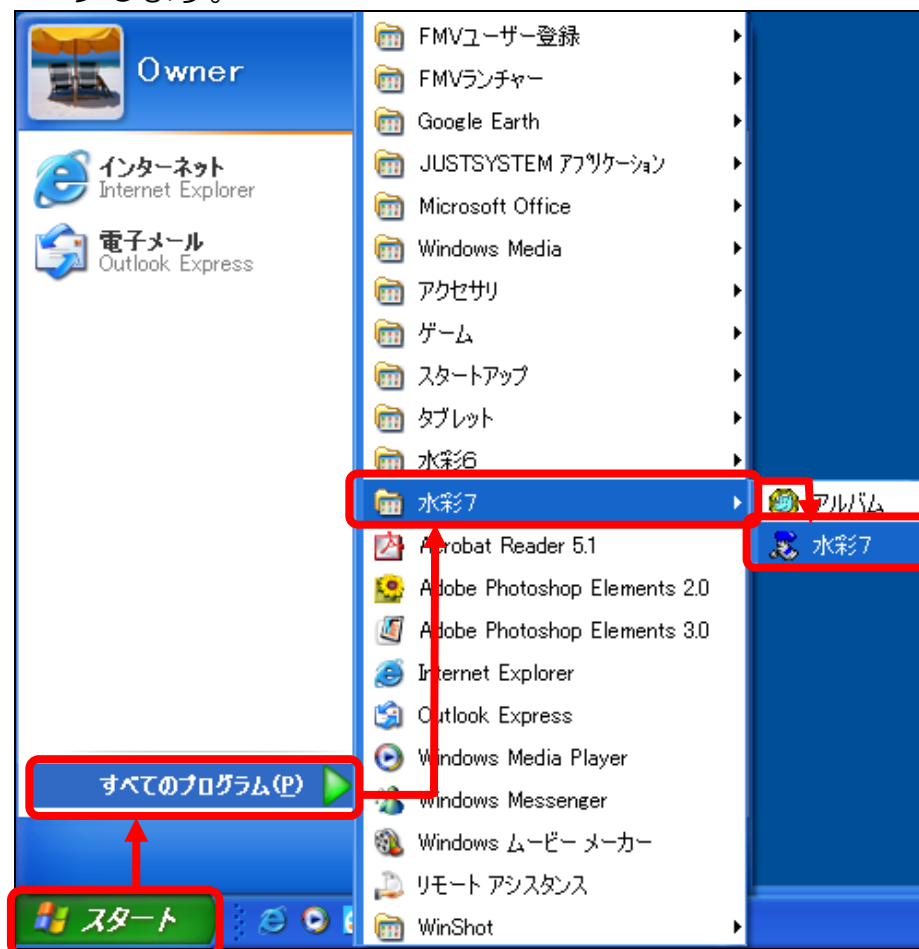
※ 水彩7体験版は以下のページからダウンロードできます。  
[http://www.nttdata.co.jp/services/suisai/trial\\_frame.html](http://www.nttdata.co.jp/services/suisai/trial_frame.html)

## レッスン ② 水彩の画面を確認しよう

### 1 水彩の起動

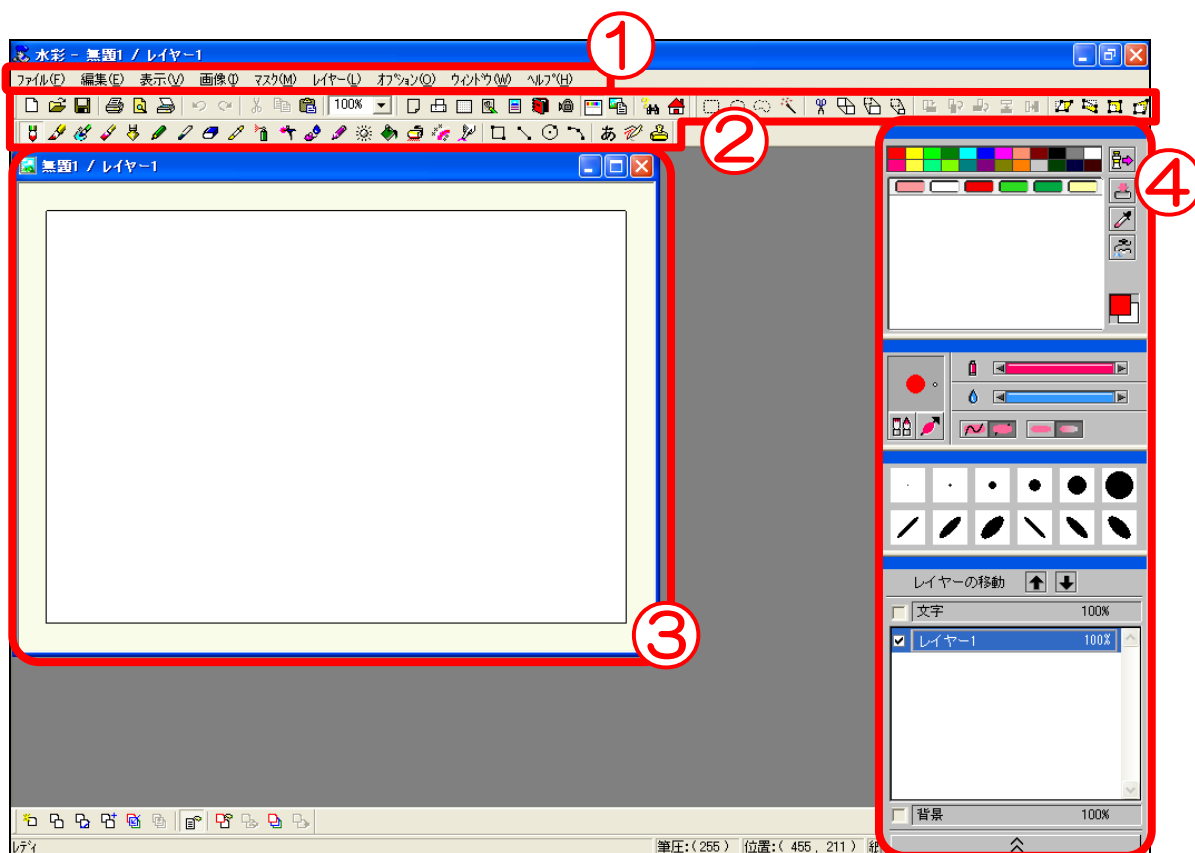
水彩を起動して画面を確認してみましょう。

- ① 【スタート】をクリックします。  
【スタートメニュー】が表示されます。
- ② 【すべてのプログラム】にマウスポインタを合わせます。
- ③ 【水彩7】にマウスポインタを合わせ、【水彩7】をクリックします。





④ 「水彩」が起動し、画面が表示されます。



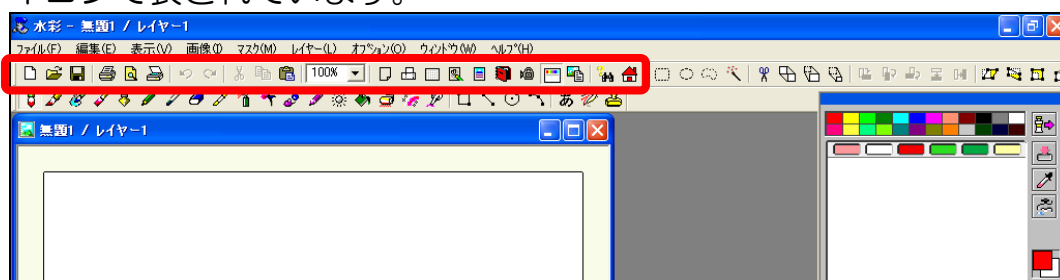
- ① メニューバー …………… 水彩で使うメニューが集められています。
- ② ツールバー …………… よく使うツールがアイコンで表されています。
- ③ キャンバスウィンドウ・実際に絵を描いていく紙です。
- ④ サブウィンドウ …………… 絵筆や色などの細かい設定をするところです。

## 2 ツールバーについて

「水彩」の主な機能はツールバーで選ぶことができます。  
ツールバーのアイコンの上にマウスポインタを合わせるとボタンの名称が表示されますので、確認してみましょう。

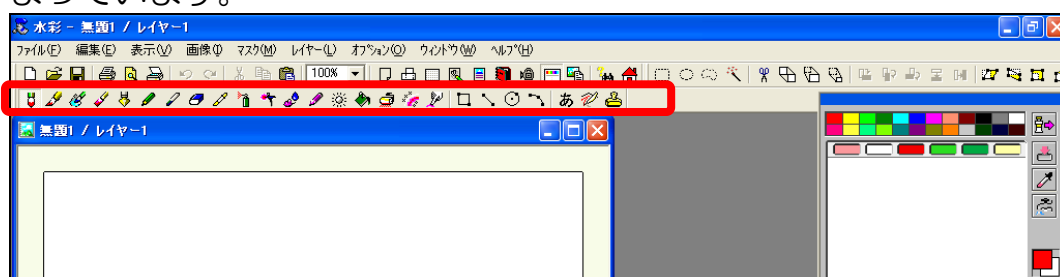
### ● 基本ツールバー

新規作成、ファイルを開く、保存、印刷といった基本操作がアイコンで表されています。



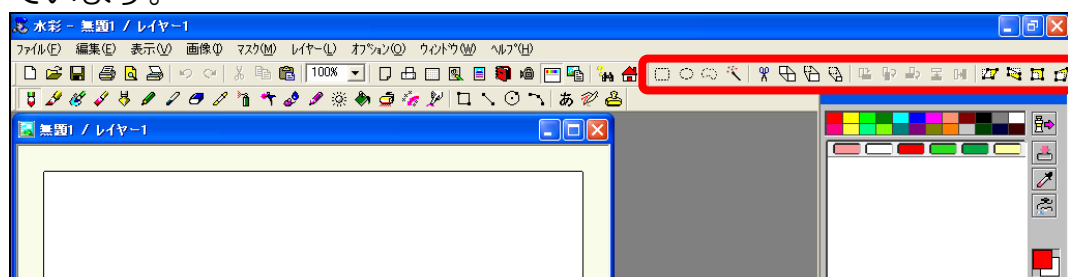
### ● 描画ツールバー

筆・ペン・鉛筆・消しゴムといった、描画に関するツールが集まっています。



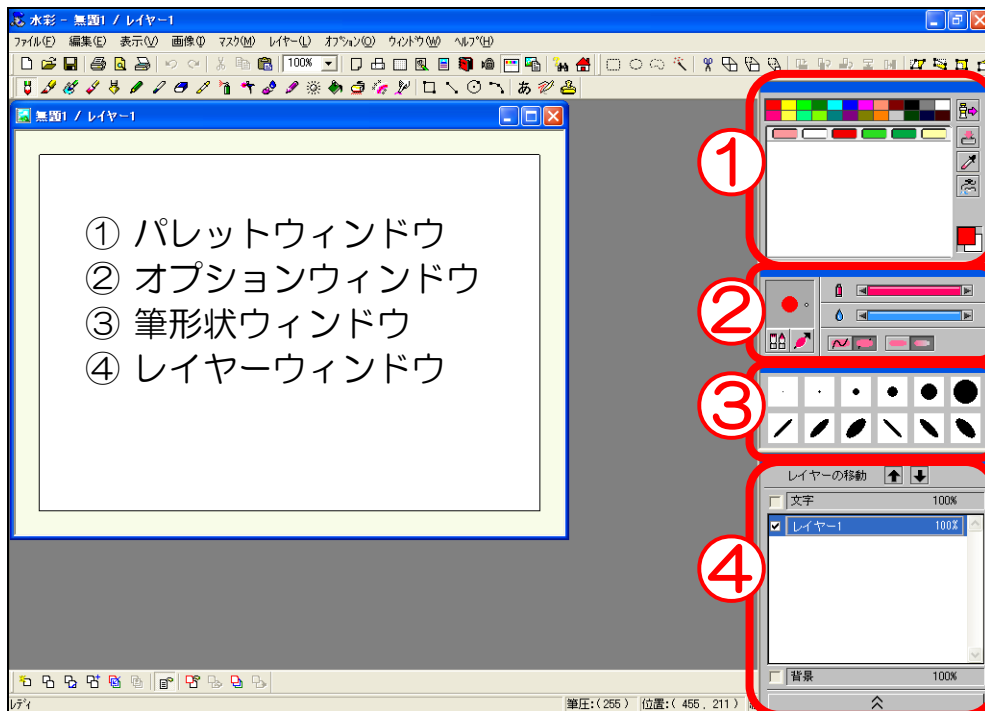
### ● 編集ツールバー

選択範囲、拡大・縮小コピーなど編集に関するツールが集まっています。



### 3 4つのサブウィンドウの確認

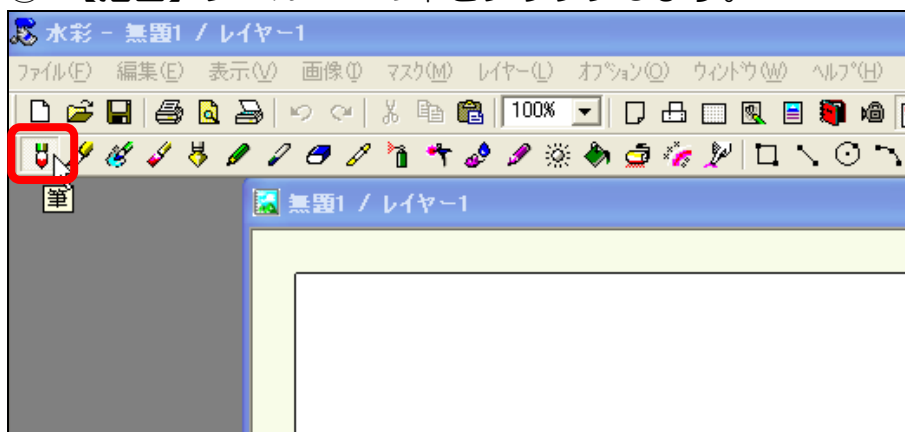
「水彩」のおもしろさは、色を混ぜたり水で薄めたり、本物の紙に絵の具を塗るような感覚で描けることです。はじめに右側の4つのサブウィンドウで準備をしてから描き始めましょう。



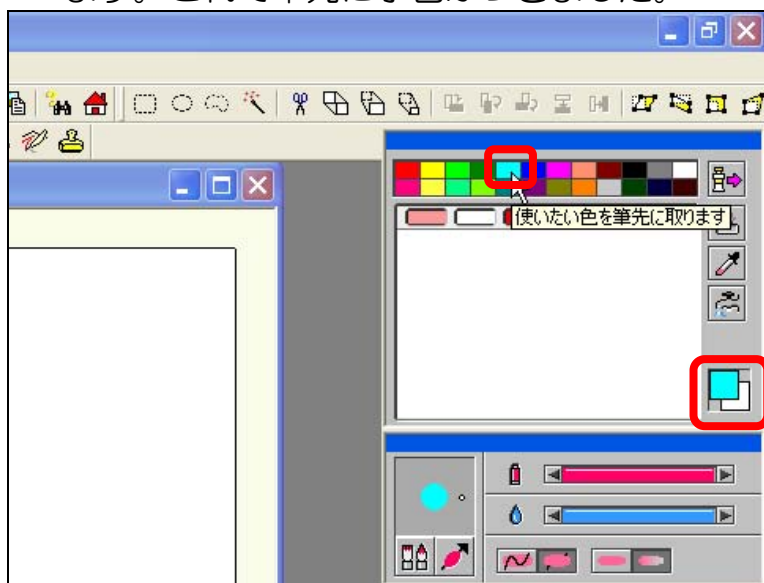
### 4 パレットウィンドウ

パレットウィンドウでは、本物のパレットと同じ感覚で色を選んだり、色を混ぜたりすることができます。実際に色を選んで塗ってみましょう。

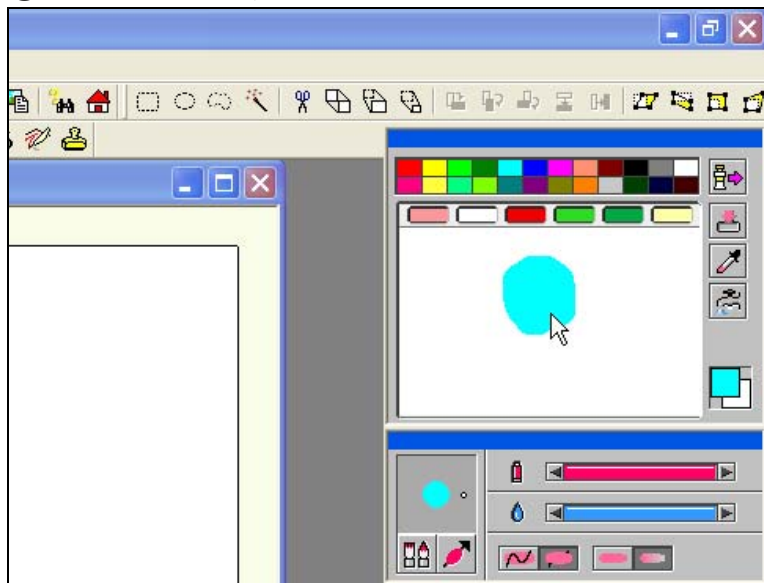
① 【描画】ツールバーの筆をクリックします。



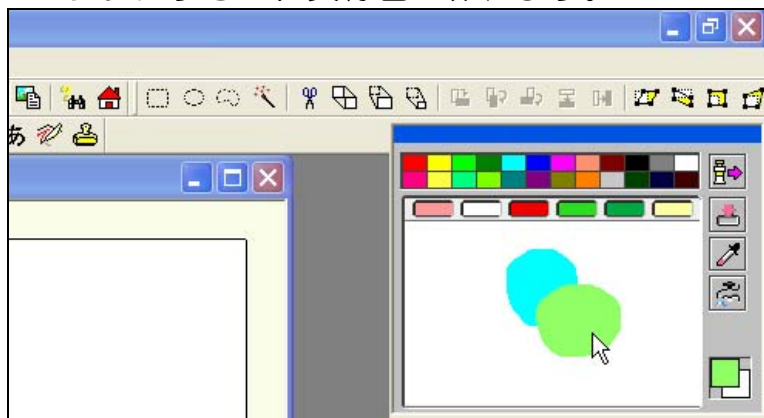
- ② パレットの上にある色見本から水色をクリックすると、パレットウィンドウ右下の四角形（インジケータ）が水色に変わります。これで筆先に水色がつきました。



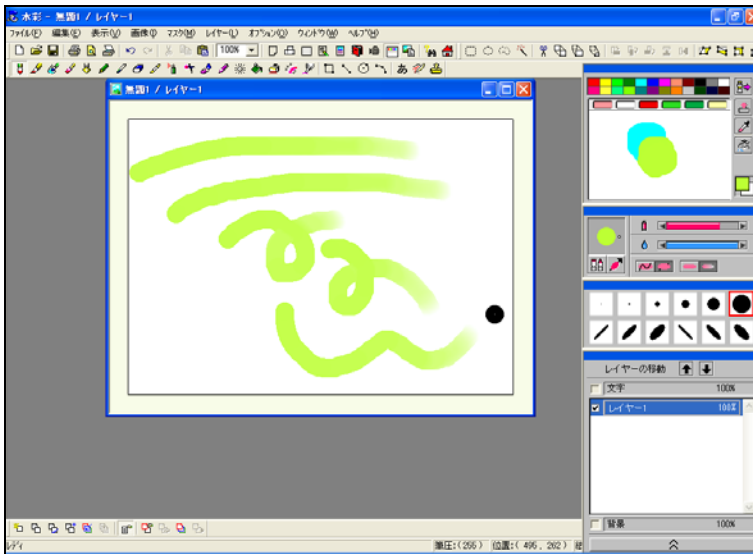
- ③ パレットの中央でぐるりとドラッグすると水色が乗ります。



- ④ さらに色見本の黄色をクリックし、パレットの水色の上でドラッグすると、黄緑色が作れます。

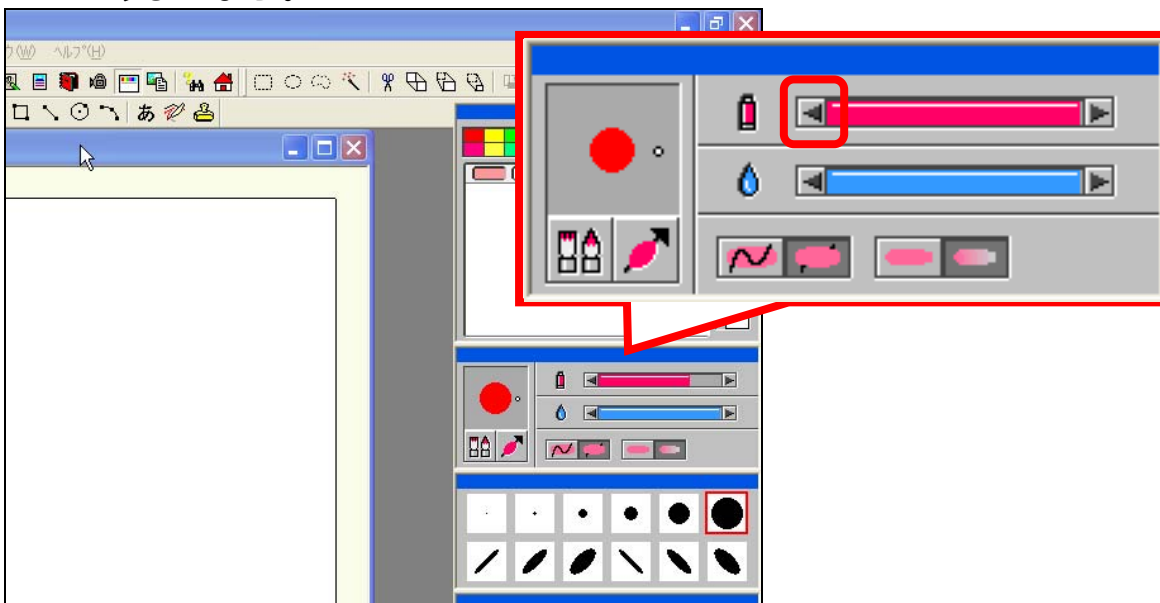


- ⑤ キャンバスウィンドウ（白い紙）の中央でドラッグしながら  
ためし描きをしてみましょう。



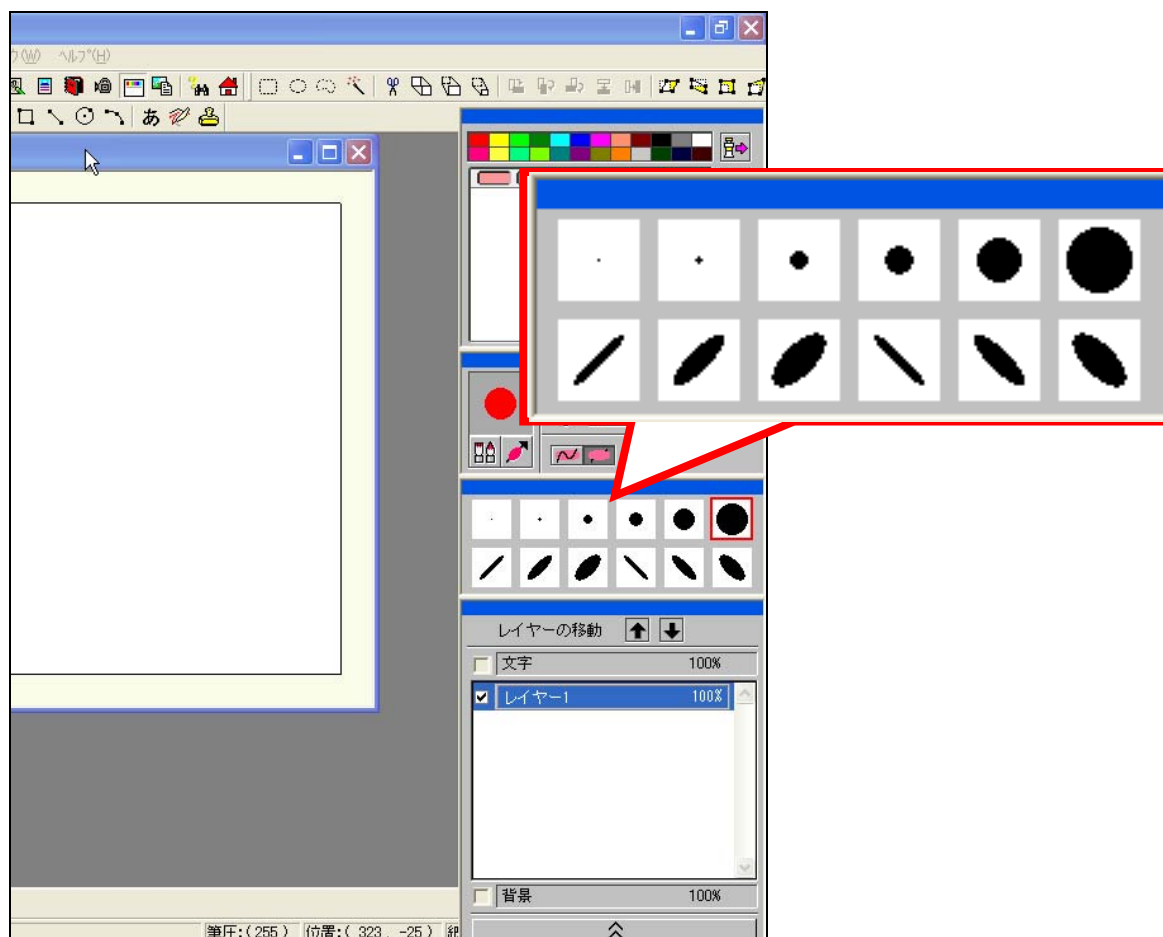
## 5 オプションウィンドウ

オプションウィンドウでは、絵の具の量と水の量の調整ができます。赤いバーが絵の具の量、青いバーが水の量を表します。赤いバー左端の ◀ をクリックすると、絵の具の量が減り水の割合が多くなります。その分水を含ませた感じの筆先になるので、水彩らしいみずみずしさを出したい時は、絵の具の量を少なめにしてみましょう。



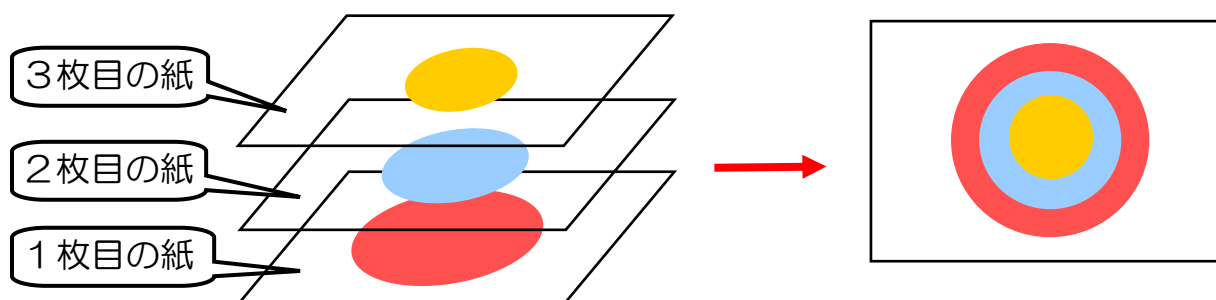
## 6 筆形状ウィンドウ

筆のサイズをクリックすることで、筆先を太くしたり細くしたりすることができます。色を混ぜる時は太めの筆を選ぶとよいでしょう。



## 7 レイヤーウィンドウ

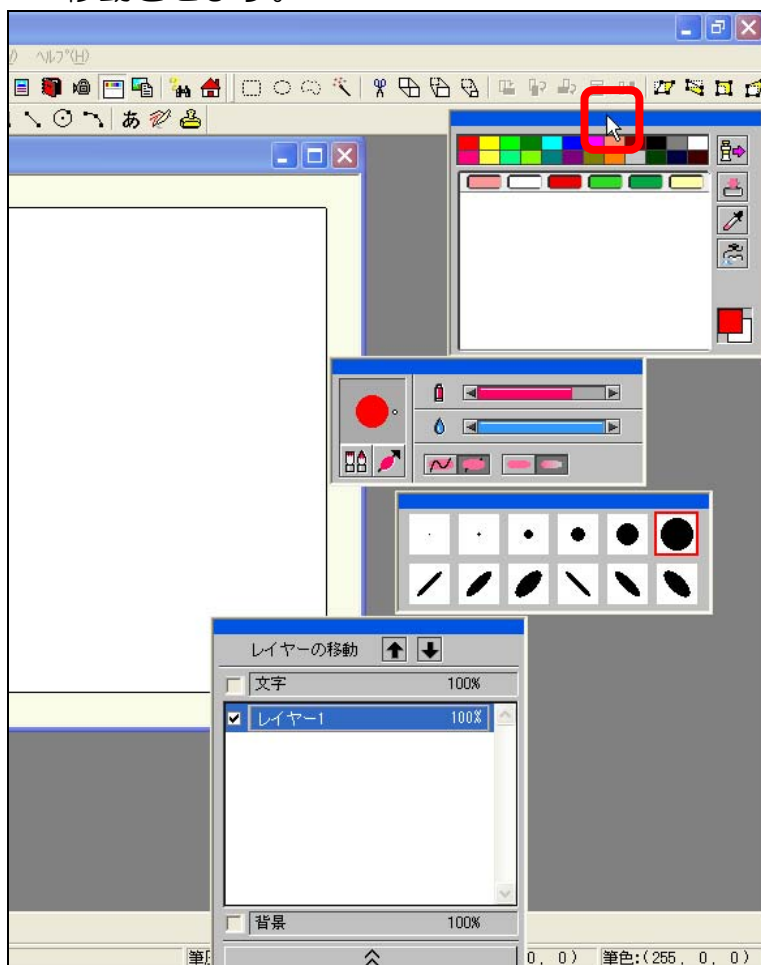
「水彩」では透明な紙を何枚か重ねて絵を描いていきます。紙が重なって層になっているので、レイヤー（層）と呼ばれています。レイヤーウィンドウでどの紙が選ばれているのかを確認しながら描いていきましょう。



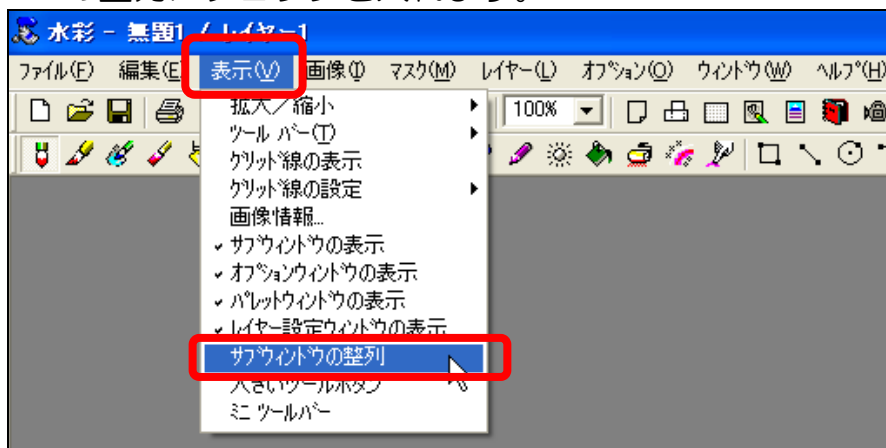
## 8 サブウィンドウを整列させたい時は

画面上の4つのサブウィンドウは、きれいに整列させることができます。

- ① パレットウィンドウのタイトルバーをドラッグして右上に移動させます。

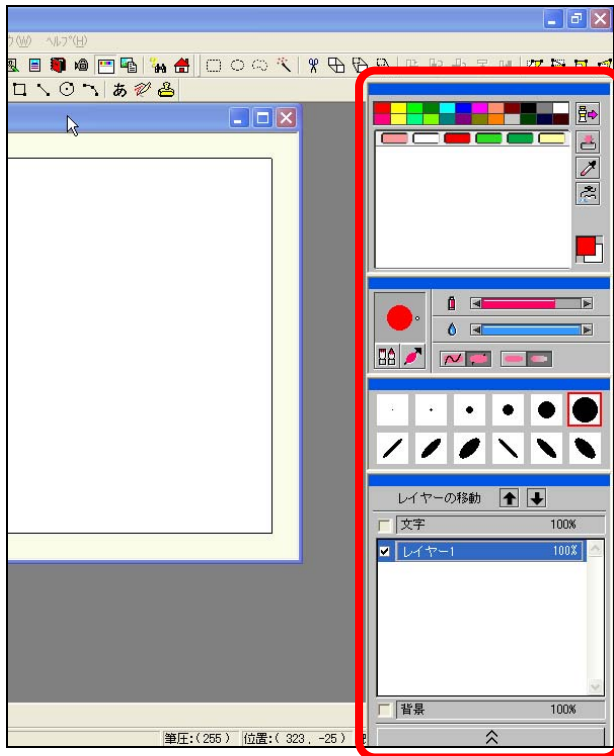


- ② メニューバーの表示をクリックし、一覧からサブウィンドウの整列にチェックを入れます。





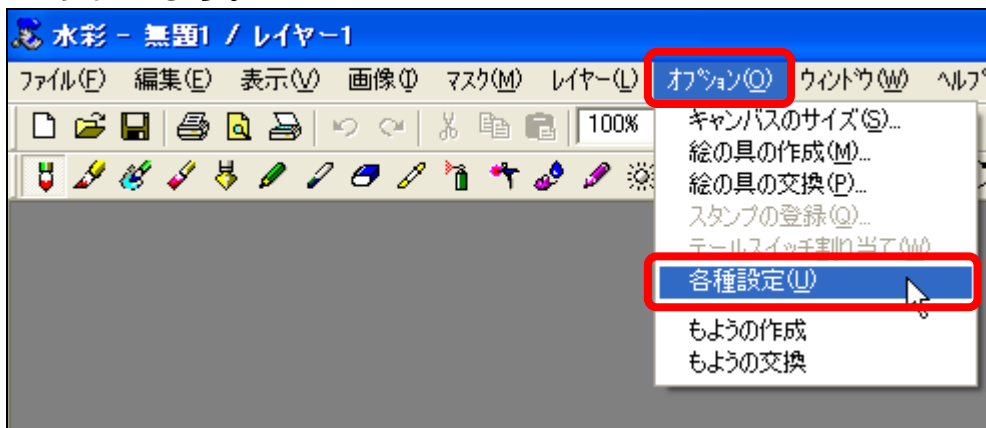
- ③ パレットウィンドウの下に3つのサブウィンドウがぴったりについて整列しました。



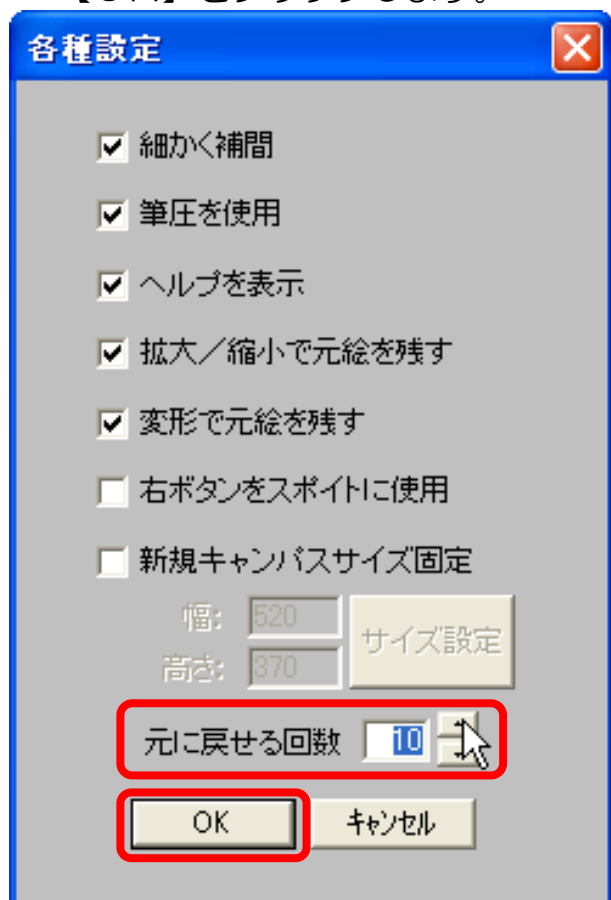
## 9 元に戻る回数の設定方法

「水彩」では失敗してしまった時、元に戻すという便利な機能が使えます。この機能は初期設定では5回になっていますが、10回まで増やせますので、最初に設定しておきましょう。

- ① メニューバーのオプションをクリックして各種設定をクリックします。



- ② ダイアログボックスで、元に戻せる回数を 10 回に変更して【OK】をクリックします。



- ③ 【閉じる】をクリックし、一度「水彩」を終了します。「水彩」を再度起動すると設定が有効になります。

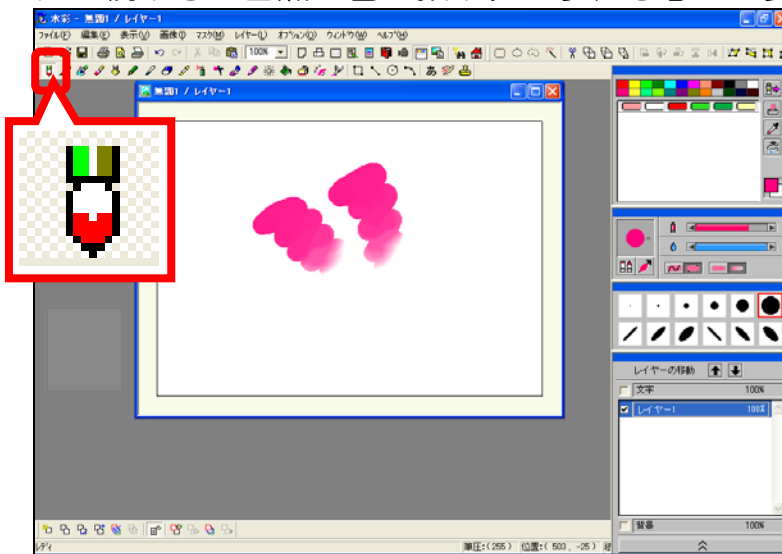
## レッスン ③ 描画ツールのいろいろ

### 1 おもな描画ツール

「水彩」にはたくさんの描画ツールがありますが、ここではおもに初めての方向きのものをあげてあります。1つずつためし描きをしてみましょう。

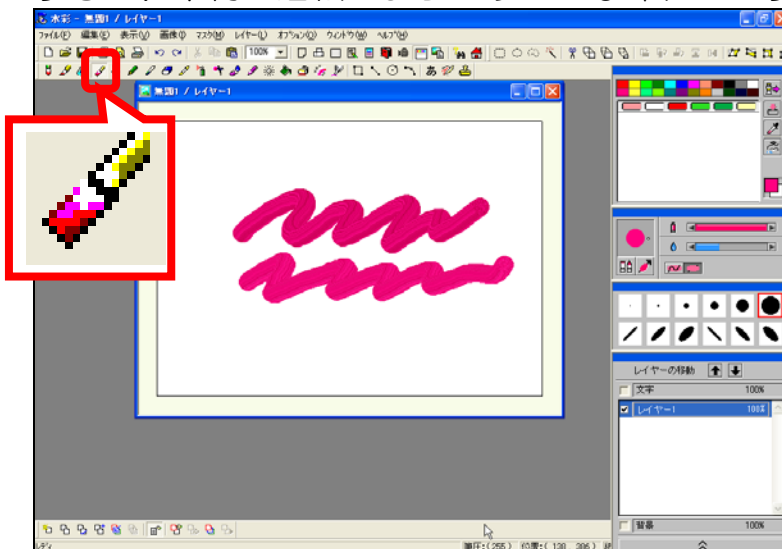
#### ① 筆

本物の水彩絵筆のように、みずみずしい感触の筆です。ドラッグし続けると自然に色が抜け、かすれる感じが表現できます。



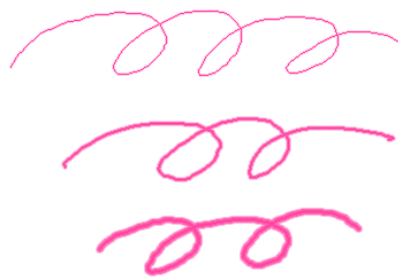
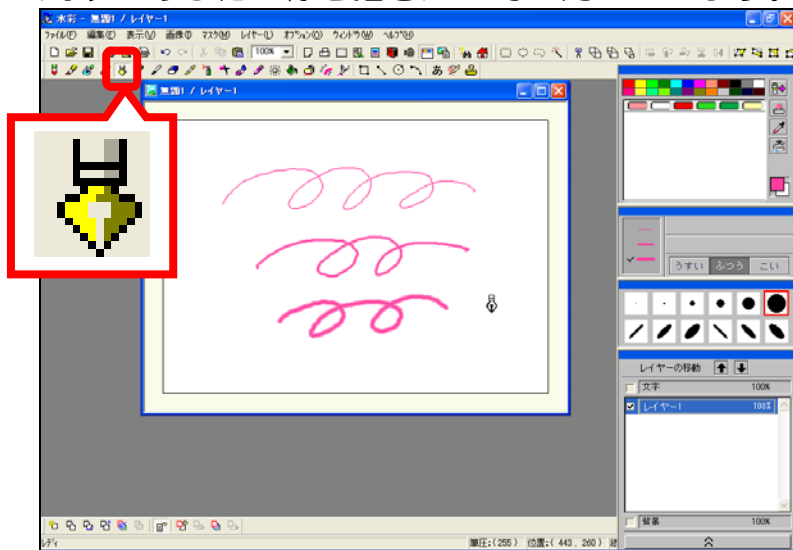
#### ② 油絵筆

筆を下ろすたびに微妙に色が変わります。水の量を最少にすると、本物の油絵のようにリアルな味わいです。



### ③ ペン

水性ペンのようになめらかなタッチのペンです。鉛筆よりも丸みのある細い線を描きたい時に向いています。



### ④ 鉛筆

最もシャープな線が描けます。細い線で洗練された雰囲気を出したい時に適しています。

